

A

# 双方向型博物館

## (市民参加の博物館)

平成34年

報コーナー

市政策に沿ったもの

三カクのこと (学 楽 岳)

健康 平和

市民提供のお宝紹介

- 他の博物館の紹介 (市内)
- 松本字真家 (山崎屋・ウレ・ウ) による展示コーナー
- 市民の生活と博物館を近づけるヤッ方・説明会
- 観光案内所・松本市内の紹介 併設
- ボランティア教育への活用

実演 体験

- 工史遺産の修理の過程の紹介 調査のヤッ方おま
- 松本の代表的な文化や行事の実演やビジュアルな紹介
- ピルゴス・美原のヤッ方紹介 (押ビナ・松本2利・他)

博物館の役割  
の1つ。  
展示物にふり  
深し  
説明する(教育)

- 松本市民が松本を認識できる博物館
- 松本市以外の博物館の紹介
- 博物館ニュースをつくらせて発信していく
- 展示解説に多言語使用
- 三カク各館の「例証」山の資料の収集・山崎字真がらす乾板の収集
- 松本らしさ (例証) 水、湧水の紹介をする
- 松本地方の地質構造も紹介する。(アサガキ...)
- 博物館が「それ以外」のものとして上げられる。

筑摩県と上野

松本の  
通史とテーマによる紹介  
(商部・近代産業)

# 月刊 みんなの博物館

## 松本の未来もつめて

昔から今までのいろいろな松本がわかる展示が完成!!

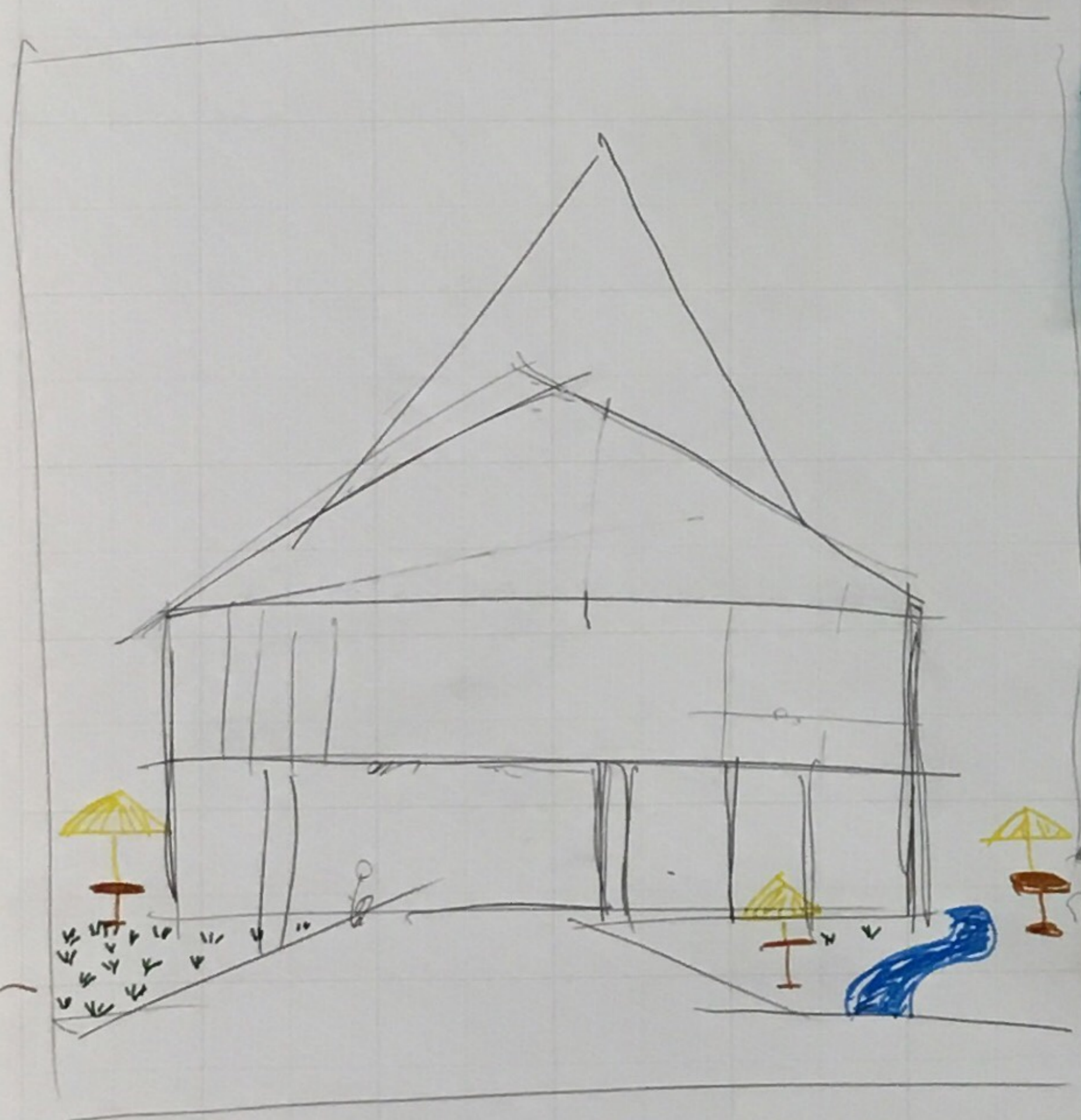
開放的な建物になりました!!

開放的な展示から自然に入館できる。前庭からあじさいのスペースがある。入館できる。

開放的な展示も

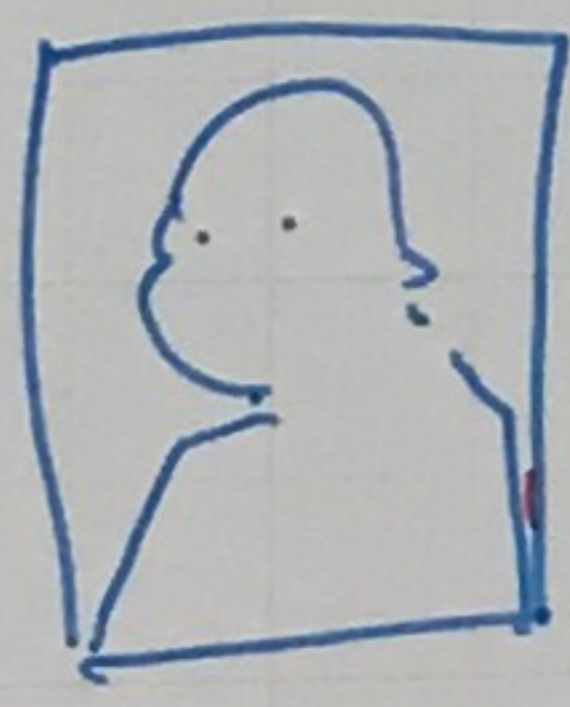
- 松本から城へのマークエッジ等
- 近代遺産が山城に集まる。近代の歴史がわかる。
- 山岳部三が。山歩き。等。がわかる。博物館
- 湧水の街がわかる案内
- 歴史のつじつま。産物がわかる。体験できる。
- まごころ博物館として。オマケのよう。その。見どころがわかる。
- ガラス越しの露出展示。か。動態展示。ワイヤに。触れる等
- 松本の歴史が今の生活にどうつながる。わかる。博物館
- 松本の歴史の経路が一目でわかる展示。
- 未処理の。物品が整理される。
- 行くときの。地図
- バウバウに。ない。資料が。どこにあるか。来館者がわかる。様子がわかる。

2024年4月10日



- 流るる水が行われる。博物館
- 年配の人と若い人の交流ができる。博物館
- 子どもや障害者等が見学しやすい。バウバウ/目線が子どもに。子ども目線
- 子どもがきてくれる。11時-12時
- 親子連いや35代(児童生徒)が何度も来館
- 若くは。昔の話を。もつて。博物館
- 報告スベシリストの話。昔の話を。もつて。博物館
- レポート。小学生が。博物館
- 博物館で。学んだ。35代が。友人や。子どもを連れて。また来た。場所

子どもも大人も気軽に立ち寄れるスペースが広がります!!



館長あこ

- 松本の食べ物がいっぱい食べられる。
- 松本のうまい食べ物を。使った。カレー。

松本の食の味を味わえます!!

未来新聞

# 誕生! 新しい楽しい松本博物館

平成  
34年5月5日  
オープン

展示  
で  
新しい知識  
楽しく  
おもしろく  
勉強の  
場

松本の  
子どもたち  
が  
学ぶ  
場所

博物館  
が  
いつも  
動いて

ニニニ  
どこ  
何が  
あるの  
か  
1130

外  
情報発信  
して  
みる。

興味  
わく

松本の  
歴史

## 実は一番大事 管理・收藏

收藏  
大事。  
博物館の  
一番大事  
保存  
材料の可  
保存

## 夢の学び場所

学び  
場所

三ヶ岳  
特に  
岳(カウチ)  
ニニニ  
高い山が  
たくさん  
ある  
富岳山に  
1130  
姿が見える  
岳(カウチ)  
ある資料を  
あめこ特  
ちな

時代順の  
展示は  
わかりやすい

松本の  
全体が  
わかる。

商都松本  
の  
あつた

伝統文化  
行事  
月俗

道路  
川・運河  
を  
知る  
将来  
つくる  
こと

松本出身の  
歴史を  
残して

「学習室」  
大画面で  
映像  
子どもと  
工作や  
民俗文化に  
かかわる  
一緒に  
つくる

次回展示の  
予告が  
ル・ム  
他の館でも  
どんな  
やると  
わかる

「会議室」  
講演会  
先生と  
「市史」を  
解説する  
講演会

松本の  
「宝」展示  
特別展示  
が必要

大型展示  
年1~2回  
(江戸時代)

夢の

「喫茶室」  
(テラス)  
外も  
喫茶室

クッカー  
は  
必要

PR  
広報  
大目的

市内博物館  
と  
連携  
する

予算と  
スタッフ  
の  
倍!!

学員のレベルが  
2ステージ  
UP!

# 見る！知る！体験する！

D

パケンコ屋の  
楽しい博物館

# 新ミュージアム 明日オーブン

過去〜現代〜未来  
まで。つなげる  
博物館

江戸の城下町。  
明治。大正。  
昭和。平成。令和  
つなげる

現代を  
つなげる  
博物館

→  
ここからできる  
子ども達の  
学び

見のがせは「常設」  
展示物!!  
(2〜30月に1度入れ替え)

展示が  
かわる。  
おもしろ  
い何度でも

常設展示が  
2〜30月に1度  
大幅に変わる

子供が楽しめる  
系を「体験」  
学習

体験型の  
博物館

子供が自分で  
何かをやりながら  
松本の歴史を  
学ぶ

方言で御案内  
ロボットコンシェルジュ

お城に負けな〜い外回り... 3Dシアターのスタイル

中世〜近世の  
知識。  
●インフォメーション

展示を  
かえたり  
仕組む  
設備

ガラボウ

松本の方言で  
しゃべり  
コンシェルジュ

待つよじ〜

ロボットコンシェルジュ  
ガラボウ

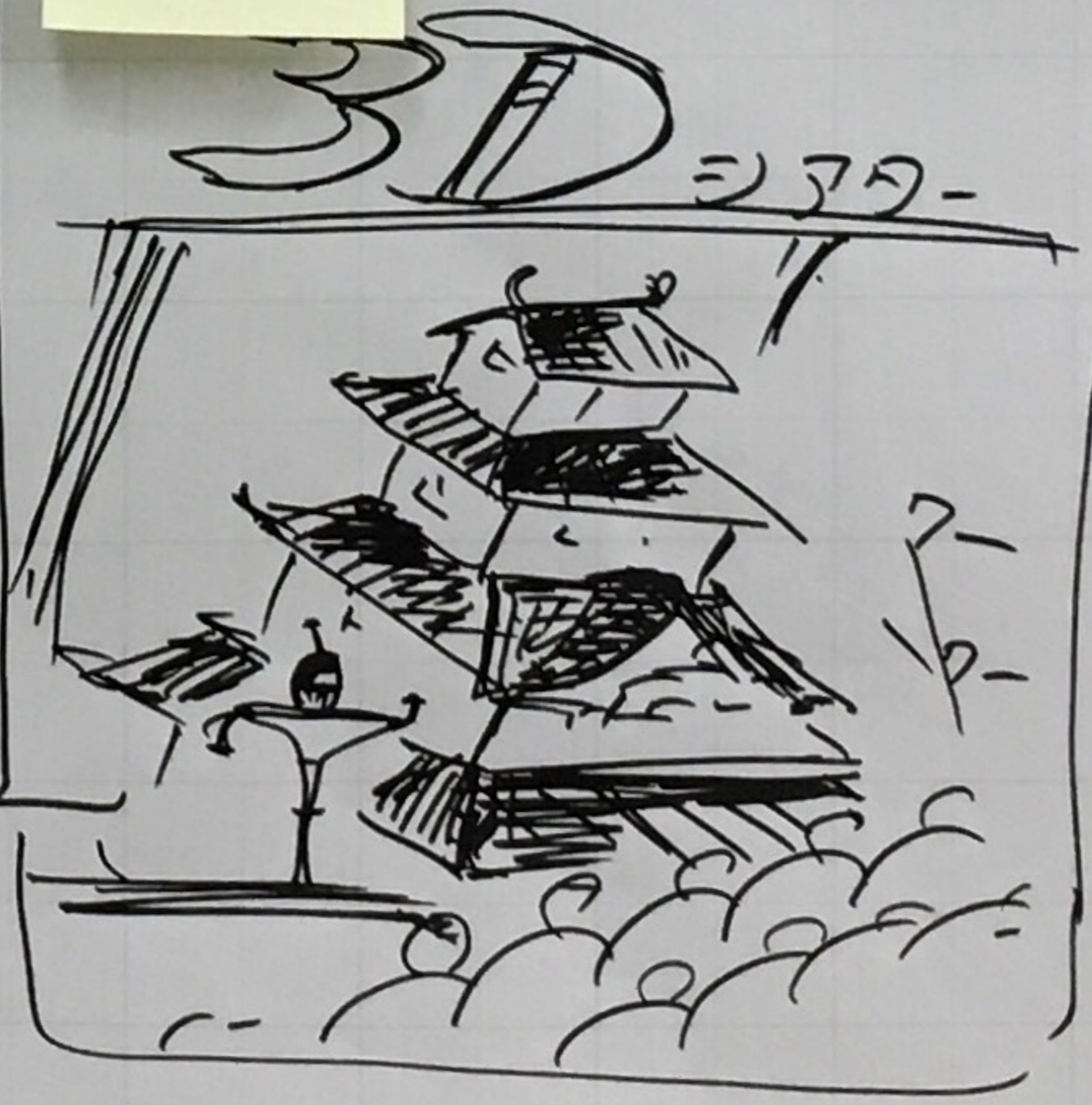
10年、20年前の  
松本がわかる。  
四季がわかる。

1DAYチケット  
2DAYチケット

2019.3.23

ペア、グループ  
チケット

宿とのタイアップ  
もされます。  
観光



館内の  
案内を













○ 木下先生に  
たいさじか  
たいさ!

○ 地域のまちが活性化  
する方に考えたい。

木下先生に「地域の次は  
博物館か!!」と言っている。

○ このとおりの博物館  
でいいように。

○ 実現するよう。

○ 市民の意見を機会が貴重だった  
中の中は「学び」が中心で「楽しむ」  
「楽しむ」がキーポイント。

（まち外の人も含め）

○ 市民のための「活性化」  
マイ・シティが実現する。

○ 子どものことを考える

意見が多いため

学習の機会がとれるように

○ このWSのことを活かして、  
どうにか参加者に知らせ  
たい。

○ 木下先生は山のまち、温泉のまち  
だと思ってる。山をテーマに  
したい。

○ 川沿いの重宝展示!!

（木下先生に実現してほしい）

（実現）

○ 山の本ご参加

○ 範囲が広い分野をいじる者らしく  
よい経験になった。

○ 最後は誰がやるんだろう。

○ 多様な意見があった

「木下の博物館が実現する」と思っている  
もの。

○ 市民は無関心。

市民が支える博物館か? (⇒)

○ 地域が中心でいい。このまちでもいい。

(何万人も受け入れられるようにしたい)

新しい博物館  
への思いを  
みんな  
感じたい。

（どう思ってるか  
↓ 話し合い  
したい）